

令和2年度 社会科 第1学年 地理的分野・歴史的分野 年間指導計画・評価規準

調布市立第四中学校

1 教科目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

2 社会科の観点及びその趣旨

○社会的事象への関心・意欲・態度

社会的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、よりよい社会を考え自覚をもって責任を果たそうとする。

○社会的な思考・判断・表現

社会的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。

○資料活用の技能

社会的事象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。

○社会的事象についての知識・理解

社会的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身に付けている。

(1) 地理的分野の評価の観点及びその趣旨

○社会的事象への関心・意欲・態度

地理的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の特色について認識を養おうとする。

○社会的な思考・判断・表現

地理的事象から課題を見だし、日本や世界の地域的特色を地域の規模に応じて環境条件や人々の営みなどと関連付けて多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。

○資料活用の技能

地図や統計、映像など地域に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。

○社会的事象についての知識・理解

日本や世界の諸地域について、その地域構成や地域的特色、地域の課題などを理解し、その知識を身に付けている。

(2) 歴史的分野の評価の観点及びその趣旨

○社会的事象への関心・意欲・態度

歴史的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、広い視野に立って我が国の伝統と文化について考え国民としての自覚をもとうとする。

○社会的な思考・判断・表現

歴史的事象から課題を見だし、我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。

○資料活用の技能

年表や歴史地図、映像など歴史に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。

○社会的事象についての知識・理解

我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史背景に、各時代の特色を踏まえて理解し、その知識を身に付けている。

3 各分野の目標

(1) 地理的分野の目標

- ①日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う。
- ②日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとのかかわりで捉え、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題を捉えさせる。
- ③大小様々な地域から成り立っている日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察し、それらの地域は相互に関係し合っていることや各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があること、また、それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解させる。
- ④地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。

(2) 歴史的分野の目標

- ①歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。
- ②国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる。
- ③歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う。
- ④身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

4 年間指導計画・評価規準

評価の観点：①社会的事象への関心・意欲・態度 ②社会的な思考・判断・表現 ③資料活用の技能 ④社会的事象についての知識・理解

(1) 地理的分野

月	指導計画		評価規準	評価方法
6	第1部	世界のさまざまな地域		
	第1章	<ol style="list-style-type: none"> 1 地球をながめて 2 いろいろな国の国名と位置 3 緯度と経度 4 地球儀と世界地図の違い 	<ol style="list-style-type: none"> ①小学校での既得の知識や日常生活での経験などと関連させて世界のおもな国をあげるとともに、地図や地球儀に親しみ、さらに世界のおおまかな地域構成について興味・関心をもってとらえようとする。 ②国名や国旗、国境線の特色などから、これらはさまざまな地理的事象と密接に関連していることを多面的・多角的に考察することができる。 ③緯度と経度を使って世界の地点を示すことができるとともに、世界のおおまかな略地図をポイントをふまえて描いたり、統計資料を活用したりすることができる。 ④世界の六大陸三大洋、六つの州をとらえるとともに、おもな国の名称と位置や緯度と経度のしくみ、さまざまな世界地図の特色を理解している。 	授業観察 提出物 小テスト 定期考査
9	第2章	<ol style="list-style-type: none"> 1 世界のさまざまな生活と環境 2 暑い地域の暮らし～インドネシアでの生活～ 3 乾燥した地域の暮らし～アラビア半島での生活～ 4 温暖な地域の暮らし～スペインでの生活～ 5 寒い地域での暮らし～シベリアでの生活～ 6 高地での暮らし～アンデス山脈での生活～ 7 世界各地の衣食住とその変化 8 宗教と生活のかかわり 	<ol style="list-style-type: none"> ①世界各地の人々の生活と環境の多様性に対して関心をもち、意欲的に追究しようとしている。 ②世界各地の人々の生活と環境の多様性を、自然及び社会的条件と関連づけた人々の生活のようすとその変容をもとに、多面的・多角的に考察し、適切に判断することができる。 ③世界各地の人々の生活と環境の多様性に関する資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりすることができる。 ④世界各地の人々の生活と環境の多様性について、自然及び社会的条件と関連づけた人々の生活のようすと変容を理解し、その知識を身につけている。 	授業観察 提出物 小テスト 定期考査
	10 11	第3章	序節 世界の諸地域を学ぶにあたって 1節 アジア州 <ol style="list-style-type: none"> 1 アジア州の自然環境 2 地域によって異なるアジアの農業や文化 3 経済発展を急速にとげた中国 4 自立の道を歩む東南アジア 5 産業の発展が急速に進む南アジア 6 資源が豊富な西アジア・中央アジア 2節 ヨーロッパ州 <ol style="list-style-type: none"> 1 ヨーロッパ州の自然環境 2 ヨーロッパ文化の共通性と多様性 3 ヨーロッパ統合と人々の生活の変化 4 ヨーロッパの農業の今 5 国境をこえて結びつく EU の工業 3節 アフリカ州 <ol style="list-style-type: none"> 1 アフリカ州の自然環境 2 アフリカの文化と歴史 3 アフリカの産業と経済を支える輸出品 4 自立をめざすアフリカの国々 	<ol style="list-style-type: none"> ①中学校第1学年の生徒の生活や関心と結びつく地理的事象を取りあげ、各州の地域的特色を明らかにするテーマを追究する学習に、意欲的に取り組もうとする。 ②各州の地域的特色を明確にする主題を追究し、わが国との比較や関連をはかりながら、多面的・多角的な思考や判断を行うことができる。 ③地球儀、地図帳、映像資料などから地理的事象を読み取り、それらの学習成果を略地図などにまとめる技能を身につけている。 ④各州の大観的な学習を通して、基礎的・基本的な知識を習得し、主題追究学習により、各州の地域的特色を理解して、世界の諸地域についてのイメージを構成できる。

11 12	第3章 世界の諸地域	<p>4節 北アメリカ州</p> <p>1 北アメリカ州の自然環境</p> <p>2 移民の歴史と多様な民族構成</p> <p>3 大規模な農業と多様な農作物</p> <p>4 世界をリードする工業</p> <p>5 世界に広がるアメリカ合衆国の影響</p> <p>5節 南アメリカ州</p> <p>1 南アメリカ州の自然環境</p> <p>2 多様な民族と人々の生活</p> <p>3 大規模化する農業と発展する工業</p> <p>4 ブラジルにみる環境問題</p> <p>5 産業の発展と開発にともなう問題</p> <p>6節 オセアニア州</p> <p>1 オセアニア州の自然環境</p> <p>2 移民の歴史と多文化社会への歩み</p> <p>3 海外と結びついたオセアニアの産業</p> <p>4 強まるアジアとの結びつき</p>	<p>① 中学校第1学年の生徒の生活や関心と結びつく地理的事象を取りあげ、各州の地域的特色を明らかにするテーマを追究する学習に、意欲的に取り組もうとする。</p> <p>② 各州の地域的特色を明確にする主題を追究し、わが国との比較や関連をはかりながら、多面的・多角的な思考や判断を行うことができる。</p> <p>③ 地球儀、地図帳、映像資料などから地理的事象を読み取り、それらの学習成果を略地図などにまとめる技能を身につけている。</p> <p>④ 各州の大観的な学習を通して、基礎的・基本的な知識を習得し、主題追究学習により、各州の地域的特色を理解して、世界の諸地域についてのイメージを構成できる。</p>	<p>授業観察 提出物 小テスト 定期考査</p>
12	第4章 世界のさまざまな地域の調査	<p>1 調査テーマを決めよう</p> <p>2 資料を集めて調べよう</p> <p>3 調査結果をまとめよう</p> <p>4 調査結果を発表しよう</p>	<p>① 調査対象の国や地域の調査とその地域的特色に関心をもち、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p> <p>② 調査対象の国や地域の地域的特色をとらえる適切なテーマを設定して、世界の地域の調査を行う際の視点や方法をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③ 調査対象の国や地域の調査と地域的特色に関する資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。</p> <p>④ 調査対象の国や地域の調査について、地域的特色にとともに、世界の国や地域の調査を行う際の視点や方法を理解し、その知識を身につけている。</p>	<p>授業観察 レポート 提出物 小テスト 定期考査</p>

(2) 歴史的分野

月	指導計画	評価規準	評価方法
6	第1章 1 身近なものにも歴史がある！？ 2 「歴史の流れ」から思い出してみよう 3 「歴史の流れ」からまとめてみよう 4 歴史の調べ学習をするには とらえよう 歴史の流れを	① 身近な歴史や歴史上の人物、出来事などについて調べたり考えたりする活動を通して、日本の歴史の大きな流れや時代の特色に対する関心を高め、意欲的に学習している。 ② 歴史上の人物、出来事などについて考える活動を通して、日本の歴史の大きな流れや時代の特色を考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③ 日本の歴史の大きな流れや各時代の特色に関するさまざまな資料を収集し、適切に選択してその過程や結果をまとめている。 ④ 時代の大きな移り変わりに気付くとともに、年代の表し方や時代区分について理解している。	授業観察 レポート 提出物 小テスト 定期考査
6	第2章 1節 世界の古代文明と宗教のおこり 1 人類の出現と進化 2 古代文明のおこりと発展 3 中国文明の発展 4 ギリシャ・ローマの文明 5 宗教のおこりと三大宗教 古代までの日本	① 古代文明や宗教のおこり、古代の人々の生活のあらましに対する関心を高め、意欲的に学習している。 ① 最近のニュースなどで、遺物・遺跡などの考古学的な発見について関心を持っている。 ② 金属器の使用、灌漑、文化の発生などから、古代文明の特色を捉え、日本の社会に与えた影響について考察している。 ③ 古代文明や宗教のおこり、日本列島における人々の生活の変化、大和政権による統一などについて、さまざまな資料を活用している。 ④ 古代文明や宗教が生まれたことに加え、古代の人々の生活の変化を理解している。	授業観察 提出物 小テスト 定期考査
7	2節 日本列島の誕生と大陸との交流 1 日本列島の誕生と縄文文化 2 弥生文化と邪馬台国 3 大王の時代	① 古代までの日本列島の人々の生活のあらましに対する関心を高め、意欲的に追究している。 ② 縄文時代と弥生時代のちがいについて考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③ 小国のおこりから大和政権による統一までの過程を、文献資料、古墳の分布、鉄剣などの資料を通して理解している。 ③ 金印や文献資料などから、古代の日本と中国をはじめとする東アジアとの関わりを捉えている。 ④ 稲作が伝来した後の社会の仕組みや、人々の生活の変化を理解している。 ④ 東アジアとの関わり、古墳の広まり、大和政権による統一など、国家が形成されていったあらましを理解している。	授業観察 提出物 小テスト 定期考査
8 9	3節 古代国家の歩みと東アジア世界 1 聖徳太子の政治改革 2 大化の改新 3 律令国家の成立と平城京 4 奈良時代の人々の暮らし 5 天平文化 6 平安京と東アジアの変化 7 摂関政治と文化の国風化	① 天皇・貴族の政治が展開され、国際的な要素を持った文化が後に国風化したことに関心を持ち、意欲的に学習している。 ② 聖徳太子の政治から大化の改新を経て確立した律令国家が、どのような政治をねらっていたのか、その特色について考察している。 ② 仏教の影響や文化を担った人々などに着目して、古代の日本において栄えた文化の特色について考察している。 ③ 天皇・貴族の政治の展開についてのさまざまな資料を活用して、そのあらましを捉えている。 ③ 法隆寺や正倉院の宝物、仮名文字など代表的な事例についてさまざまな資料を活用して、古代の文化の特色を捉えている。 ④ 聖徳太子の政治、大化の改新から律令国家の確立に至るまでの過程など、国家の仕組みが整えられ、その後、天皇・貴族の政治が展開されたことを理解している。 ④ 大陸の文化を積極的に取り入れた文化が都を中心に栄え、その中から日本的な文化が成立したことを、具体的な事例を通して理解している。	授業観察 提出物 小テスト 定期考査

1 2 3	第3章 中世の日本	1節 武士の台頭と鎌倉幕府 1 武士の成長 2 武士の政権の成立 3 鎌倉幕府の成立と執権政治 4 武士と民衆の生活 5 鎌倉時代の文化と宗教	<p>①武士が台頭し武家政権が成立したことや鎌倉時代の武士や民衆の動きに対する関心を高め、意欲的に学習している。</p> <p>①鎌倉時代の新しい文化と仏教に対する関心を高め、現在との結びつきについて意欲的に学習している。</p> <p>②武士が台頭し武家政権が成立して、武士の支配が次第に全国に広まり、武家社会が発展していったという時代の流れを、幕府と朝廷の関係、土地制度の変化などから多面的・多角的に考察している。</p> <p>②鎌倉時代に新しい文化と仏教が生まれたことを、武士や民衆の動きと関連させて多面的・多角的に考察している。</p> <p>③武士が台頭し武家政権が成立したことと、鎌倉時代の武士や民衆の動き、鎌倉文化に関するさまざまな資料を活用している。</p> <p>④武士が台頭し武家政権が成立して、武士の支配が次第に全国に広まり武家政権が発展していったことを理解している。</p> <p>④鎌倉時代の新しい文化や仏教の特色を理解している。</p>	授業観察 提出物 小テスト 定期考査
		2節 東アジア世界との関わりと社会の変動 1 モンゴルの襲来と日本 2 南北朝の動乱と室町幕府 3 東アジアとの交流 4 産業の発達と民衆の生活 5 応仁の乱と戦国大名 6 室町文化とその広がり	<p>①鎌倉幕府の滅亡から戦国大名の登場までの武家社会の展開、経済の発達と社会の変化、室町文化に対する関心を高め、意欲的に学習している。</p> <p>①モンゴルの襲来、日明貿易、琉球の国際的役割など、東アジア世界とのつながりに関心を高め、意欲的に学習している。</p> <p>②モンゴルの襲来や日明貿易が日本の政治や社会に与えた影響について、多面的・多角的に考察している。</p> <p>②自治的な仕組みの発生、武士や民衆の活力を背景にした新しい文化の誕生といった社会の変化を、農業をはじめとする諸産業の発達、政治の動きなどから多面的・多角的に考察している。</p> <p>③鎌倉幕府の滅亡から戦国大名の登場までの武家社会の展開、経済の発達と社会の変化、室町文化に関するさまざまな資料を活用している。</p> <p>④東アジア世界との関わりを背景に、鎌倉幕府の滅亡から戦国大名の登場までの武家社会の展開を理解している。</p> <p>④農業をはじめとする諸産業が発達し、都市や農村に自治的な仕組みが生まれたことや、武士や民衆の活力を背景にした新しい文化が生まれたことを理解している。</p>	授業観察 提出物 小テスト 定期考査